

## 主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 42

### ヘブル人への手紙において（2）

#### 大祭司

聖書：ヘブル 2:17-18. 4:14-16. 7:27. 8:1. 9:12, 14, 26, 28

- I. 「こういうわけで、わたしたちは、天を通って行かれた大いなる大祭司、イエス、神の御子を持っているのですから」——ヘブル4:14：
- A. 大祭司として、キリストは彼のパーソンにおいて（1:5, 8. 2:6）、彼の働きにおいて（1:3. 2:9-10, 14, 17）、彼の達成において（6:20. 9:24. 2:9）偉大です。
- B. わたしたちの大祭司は、神と神聖な命の豊富をわたしたちに供給します—— 8:2. 4:16。
- C. 主は肉体と成ることを通して、神からわたしたちに来て、復活と昇天を通して、わたしたちから神に戻って、わたしたちの大祭司となりました。そして彼は神の臨在の中でわたしたちを担い、わたしたちの必要をすべて顧みます—— 2:17-18. 4:14-15：
1. 旧約において、大祭司はわたしたちの大祭司としてのキリストを予表します：
- a. 大祭司が至聖所において神の臨在の中へと入って行った時はいつでも、神の御前で彼の肩に、また彼の胸にイスラエルの子たちの名を担いました——出 28:9-12, 15-30。
- b. キリストは今日わたしたちの大祭司であり、わたしたちは彼の肩に、また彼の胸にいます。彼は大祭司として天におられ、神の御前でわたしたちを担っています——ヘブル 9:24。
2. キリストが至聖所において神の御前でわたしたちを担うとき、神をわたしたちの存在の中へと供給します—— 8:2。
- II. 「キリストが……傷のないご自身を神にささげられた」（9:14）。「キリスト……多くの人の罪を担うために、ただ一度ささげられました」（28節）。「彼はご自身をささげた時、一度で永遠にこれを成し遂げられた」（7:27）：
- A. 主イエスが彼の祭司の務めにおいて最初に行なったことは、わたしたちの罪のためにご自身を神にささげることでした。彼は真の罪のためのささげ物です——ローマ 8:3. ヘブル 9:26：
1. 世の基が置かれる前から、キリストは唯一の罪のためのささげ物でした。そのような罪のためのささげ物として、彼はわたしたちの罪のためにご自身を神にささげました——啓 13:8。
2. キリストはわたしたちの罪のために一度で永遠にご自身を神にささげました。これは一度で永遠に成し遂げられました——ヨハネ 1:29. ヘブル 7:27. 9:12, 26。
- B. 大祭司として、キリストは「民の罪のために、なだめ」をなしました（2:17）。それによって、彼は神の義なる要求を満たし、神とわたしたちとの間の関係を和らげ

ました。それは神がわたしたちに対して平和のうちに恵み深くあるためです——ローマ 3:25。

C. 「罪のきよめを成し終えてから、[わたしたちの大祭司であるキリストは] 高き所の威光ある方の右に座られました」——ヘブル 1:3 :

1. 旧約において、罪のなだめをなす祭司は日ごとに立って仕え、いけにえを何度も同じようにささげ、決して座ることができませんでした—— 10:11。
2. キリストは罪を取り除き、罪のきよめを一度で永遠に成し終え、こうして永遠に座りました——ヨハネ 1:29. ヘブル 1:3; 8:1。

III. 「わたしたちの大祭司は、わたしたちの弱さに同情することのできない方ではなく、罪のないことは別にして、すべての面でわたしたちと同じように試みられたのです」——4:15 :

A. キリストは「すべての事で、彼の兄弟たちのように」なりました。「それは、彼が……あわれみ深い、忠信な大祭司と」なるためです (2:17)。ここで、「あわれみ深い」は彼が人であることに符合し、「忠信な」は彼が神であることに符合します。

B. わたしたちの大祭司は、すべての面でわたしたちと同じように試みられた方として、わたしたちの弱さを思いやり、試みられているわたしたちを助けることができます—— 18 節. 4:15 :

1. 彼はわたしたちの弱さに容易に同情し、わたしたちが弱さの中で受けているのと同じ苦難の中へとすぐに入ってきてくださいます—— 15 節。
2. わたしたちに起こることは何であれ、またわたしたちにどんな苦難があろうと、彼はわたしたちに同情し、わたしたちを思いやってくださいます——参照、使徒 9:1-5. ローマ 8:26。
3. キリストは、わたしたちに常に同情してくださる大祭司です。わたしたちが感じることは何であれ、彼は同情してくださいます——ヘブル 4:15:
  - a. 彼がわたしたちに同情してくださるのは、彼がわたしたちの霊の中におられるからです—— II テモテ 4:22。
  - b. 彼がわたしたちの感じるすべてことを思いやってくださいるのは、彼がわたしたちと一であるからです—— I コリント 6:17。
  - c. わたしたちは霊に戻るとき、霊の中でキリストと会い、彼の臨在の中において、彼をわたしたちを常に思いやってくださいる大祭司として経験します —— ピリピ 4:23. II テモテ 4:22. ヘブル 4:15。

IV. 「わたしたちにはそのような大祭司がおられ、彼は天で威光ある方の座の右に着き」——8:1 :

A. 昇天したキリストは現在のキリストであり、今わたしたちの大祭司として天におられ、わたしたちに天的な命、恵み、権威、力を供給し、わたしたちが地上で天的な生活をするためにわたしたちを支えています——4:14-16。

B. 天におられるわたしたちの大いなる大祭司として、キリストはわたしたちの日ごとの救い、わたしたちの瞬間ごとの供給です——1:3. 10:21。

C. キリストは天におられるわたしたちの大祭司として、わたしたちを天に、すなわち地の外庭から天の至聖所にもたらしめます。天の至聖所は、天のはしごであるキリス

トによって、わたしたちの霊に結合されています —— 創 28:12. ヨハネ 1:51. ヘブル 4:16. 10:22 :

1. わたしたちの大祭司としてのキリストのこのような経験は天にあり、またわたしたちの霊と召会の中にもあります。なぜなら、召会は今日、わたしたちの霊の中の神の住まいであるからです —— エペソ 2:22. ヘブル 2:12. 4:12, 16. 12:22-24。
2. 地を天に結合し、天を地にもたらず天のはしごであるキリストは、わたしたちの霊の中におられます —— ヨハネ 1:51. 3:6. 4:24. ガラテヤ 6:18. II テモテ 4:22。
3. 神の住まいと天のはしごによって、天にある至聖所はわたしたちの霊に結合されています —— エペソ 2:22. ヨハネ 1:51. I コリント 6:17。
4. すばらしいキリスト、すなわちわたしたちの大いなる、あわれみ深い、忠信な大祭司は、天におり、またわたしたちの霊の中にいます —— ヘブル 8:1. II テモテ 4:22。